

# 漆器 新世界へ挑む

## 特別展 近代輸出漆器の ダイナミズム

—金子皓彦コレクションの世界—

The Dynamism of Lacquerware for Export in Modern Japan:  
The World of the Kaneko Teruhiko Collection

2024 4/27(土)→6/30(日)

会期中に一部の作品の展示替を行います。



神奈川県立歴史博物館  
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

【主催】神奈川県立歴史博物館 【協力】NPO法人 横浜山手アーカイブス  
【後援】横浜芝山漆器研究会、静岡県産業振興課、箱根町教育委員会、明治美術学会、一般社団法人 日本漆工協会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、tvk(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FM3JOVA、J-COM

【助成】ポーラ美術館振興財団 POLA ART FOUNDATION

【関連行事】 ◎は事前申込制、申込多数の場合は抽選

◎記念講演会

- ①「近代輸出工芸と私のコレクション」 5月12日(日)  
金子皓彦氏
  - ②「展覧会ができるまで」 5月19日(日)  
鈴木愛乃(当館学芸員)、ゲスト 石幡賢治氏(象嵌細工)
  - ③「近代日本 美術というあきない」 6月16日(日)  
角田拓朗(当館主任学芸員)
- 時間：各回 13時30分～15時 会場：当館講堂  
定員：各回 60名  
受講料：無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要)  
申込締切：①4月23日(火) 必着  
②4月30日(火) 必着  
③5月28日(火) 必着

◎現地見学会

「横浜家具をめぐる山手西洋館ツアー」  
5月16日(木) 14時30分～16時30分(現地集合、現地解散)  
(共催：NPO法人 横浜山手アーカイブス、協力：公益財団法人 横浜市緑の協会)  
定員：20名 参加費：無料  
申込締切：4月23日(火) 必着  
近代の横浜では、居留地に住む外国人たちが求める洋家具が制作されるようになりました。家具は漆器とも近い関係にあります。洋館の中に置かれた洋家具がもつ歴史を、山手西洋館の見どころとともにお話します。

◇子ども向けワークショップ(当日申込)

- ①「麦わら細工で額絵を作ろう」  
金子皓彦氏、藤塚悦司氏(大森麦わら細工の会代表)  
5月4日(土・祝) 10時30分～12時30分、13時30分～15時30分  
ワークの所要時間1時間～1時間半程度 会場：当館1階会議室  
定員：各回 20名・先着順 対象：小学生以上の子どもの保護者  
参加費：500円程度の材料費が必要です。詳細はホームページをご覧ください。  
色とりどりに染めた麦わらを細かく切って紙に貼りつけ、額絵を作ります。
- ②「寄木細工のコースターを作ろう」篠田英治氏(寄木工房 銀)  
5月5日(日・祝) 10時30分～12時30分、13時30分～15時30分  
\*所要時間 30分～1時間程度 会場：当館1階会議室  
定員：なし(会場内定員 20名、随時受付)  
対象：小学生以上の子どもの保護者  
参加費：キット1つ550円。詳細はホームページをご覧ください。  
木のパーツをパズルのように組み合わせ、寄木細工のコースターを作ります。

◇表演

- ①「芝山細工の実演」 横浜芝山漆器研究会  
5月24日(金) 10時30分～12時30分、13時30分～15時30分  
貝や象牙による華やかな装飾が特徴の芝山細工。  
糸鋸で目を切り出して文様を作る、芝山細工の技法と漆塗りを実演します。
- ②「木象嵌の実演」 浅野慶太氏(木象嵌 Atelier k)  
6月1日(土) 10時30分～12時30分、13時30分～15時30分  
様々な色の木材を切り、別の板にはめ込んで絵のような表現を作る木象嵌。  
足踏み式の糸鋸ミシンを使って板を切り出す工程を実演し、技法を解説します。  
会場(①②とも)：当館エントランス 定員：なし(時間内随時実施)

◇学芸員による展示解説(申込不要)

5月18日(土)、6月7日(金)、15日(土)、22日(土)  
各回13時～13時30分  
参加費：無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要)

◇特別企画「仕事帰りにいかがですか?1日だけの夜間開館」

展示期間中、1日だけの夜間開館を実施します。この日は特別企画として学芸員によるギャラリートークも行います。  
6月12日(水) 17時～19時  
\*入館は18時30分まで、9時30分から17時までは通常開館  
会場：当館1階 特別展示室・コレクション展示室  
観覧料：16時30分以降は特別展のみ入場可、団体割引料金でご観覧いただけます。  
当日のイベント：担当学芸員によるギャラリートーク(18時00分～18時30分)

「往復はがき」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・行事名を明記のうえ、当館へお送りください。または、ホームページの「催し物案内」からお申し込み下さい。1件で複数名(最大4名まで)申し込まれる場合は全員分の氏名を明記してください。  
(1件で複数の催し物の申込はできません。催し物毎にお申込みください。)  
※同一人からの複数の申込は、1件として扱います。  
※催し物は変更・中止になる場合があります。詳細はホームページをご覧ください。

宛先：神奈川県立歴史博物館 企画普及課  
〒231-0006 横浜市中区南仲通 5-60  
<https://ch.kanagawa-museum.jp/>



次回展示のお知らせ

コレクション展  
「おひろめ!

—新しく博物館の仲間になったモノたち—  
2024年 7月20日(土)～9月16日(月・祝)

特別展

「かながわへのまなざし」  
2024年 8月10日(土)～10月6日(日)

本展では  
スマートフォンアプリによる展示解説も実施します。

【開館時間】9時30分～17時(入館は16時30分まで)  
【休館日】毎週月曜日(祝日は開館、4/27～5/6までは連続開館)  
【観覧料】一般 900円(800円)、20歳未満・学生 600円(500円)、65歳以上 200円(150円)、高校生 100円(100円)  
※( )内は20名以上の団体料金 ※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料  
※神奈川県立の美術館・博物館有料観覧券の半券提出により団体料金になります  
【交通】みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分 JR「桜木町駅」新南口(ICカード専用)から徒歩5分 市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分 【電話】045-201-0926【FAX】045-201-7364



# 近代輸出漆器のダイナミズム

—金子皓彦コレクションの世界—

趣味を反映し、その需要に応じて、国外への輸出が本格化しました。各産地では、小箱やアルバムの表紙などの小さな土産物から、衝立や飾棚といった大きな家具にいたるまで、工夫を凝らした多種多様な漆器が制作されました。国内向けに作られた漆器とは異なる用途をもち、和洋の文化と嗜好が融合して生まれたデザインは、新時代の魅力をたたえています。

横浜は、輸出漆器の中心地でした。国内各地で生産された漆器が集められ、輸出される貿易港だったのです。さらに、各地から漆器商や職人が移り住み、近代では有数の漆器の産地ともなりました。なかでも貝や象牙などを立体的に象嵌する芝山漆器は、その花形でした。このように、各地で新たな展開を迎えた漆器は、近代の輸出工芸の大きな柱の一つに成長していきました。

本展覧会は、金子皓彦氏のコレクションを中心に構成されます。輸出工芸のコレクターとして長年、海外で主に蒐集してきた、充実したコレクションです。本展ではそのなかから、芝山漆器や、静岡・会津などの産地で制作され、横浜を通じて海外へ渡った輸出漆器を中心にご紹介します。あわせて、同時代に漆器と括られることもあった、寄木細工や木象嵌などの輸出向けの木工芸もご覧いただけます。本展を通じて、知られざる近代輸出漆器の全貌に触れ、そのダイナミックな魅力を体感してください。



⑥

滑らかで深みのある黒の質感、そこにほどこされる蒔絵や螺鈿といった装飾の華麗なきらめき—漆器は日本美術の精華にほかなりません。

古くは中世から世界の人々を魅了してきましたが、開港後には、万国博覧会などで西洋からさらなる注目をあつめます。西洋の



②



①



⑧



⑦



④



③



⑪



⑩



⑨



⑰

- ① 青貝細工花鳥図ライティングビューロー
- ② 寄木細工飾棚
- ③ 蒔絵富士と鶴図小単笥
- ④ 芝山細工藤紅葉に桐図屏風
- ⑤ 芝山細工豊年満作図屏風(部分)
- ⑥ 蒔絵竹に雀図小単笥
- ⑦ 羅甲象牙細工万物斉同図飾棚
- ⑧ 寄木細工飾単笥
- ⑨ 富士図障棚
- ⑩ 富士図アルバム
- ⑪ 蒔絵手袋箱
- ⑫ 蒔絵梅に尾長鳥図カクテルセット

表紙  
芝山細工桜に鷹図屏風(部分)

裏表紙  
芝山細工牡丹に紫図衝立(部分)

\*全て金子皓彦コレクション

漆器の輝き  
乱れ咲き



⑤